

声 明

北朝鮮の5回目の実験に断固抗議するとともに、関係国が「6か国協議」を再開し、核保有国が、核兵器全面廃絶のために禁止条約の締結に向けて誠実に努力することを求める

報道によれば、北朝鮮は、5回目の核実験を行ったとされている。

われわれは、今回の北朝鮮の核実験に断固抗議する。

これは、北朝鮮に「いかなる核実験または弾道ミサイルの発射もこれ以上実施しないこと」を要求した国連安保理決議や、2005年の「一切の核兵器および現在の核計画を放棄する」と合意した6カ国協議共同声明に明らかに反する暴挙である。

加えて、われわれは、度重なる「弾道ミサイル」の発射という、挑発的で緊張を激化させ、北東アジアの不安定化を助長する北朝鮮の政策に強く抗議する。

この数年来、核兵器を法的に禁止するためのいくつかの提案が、国連加盟国の3分の2を超える圧倒的多数の国の賛成で決議されており、国際的には核兵器をなくすための努力は着々と進められている。昨年設置された国連「作業部会」では、2017年に核兵器禁止条約について議論することを求める「勧告」が採択され、いよいよ国連という公式の場で核兵器を禁止する議論が交わされることに大きな期待が寄せられている。

こうした努力のなかで、アメリカをはじめとする核保有国は、核兵器の「非人道性」をもはや否定することはできず、「外交・防衛」上の問題などと、あれこれ理由をつけてこの流れに抵抗している。「抑止力」という幻想から脱け出し、圧倒的な国際世論となっている「核兵器禁止条約の交渉開始」に向けて方向転換するべきであり、その努力が求められている。

今回の北朝鮮の核実験強行は、国際社会の努力に水を差すものであり、どのような口実によっても正当化されるものではない。

われわれは世界で初めて原爆による惨禍を体験した被爆者として、また被爆地・広島の子供たちとして、北朝鮮の核実験強行に強い怒りを込めて重ねて抗議する。

われわれは北朝鮮に対し、ただちに核兵器の開発・実験計画を放棄することを求めるとともに、関係各国に対し、朝鮮半島非核化と北東アジアの平和と安定のため6カ国協議を含むあらゆる機会をもうけて、誠実に話し合いを継続するよう強く要求する。

同時に、アメリカ・ロシアをはじめとした核保有国に対し、「核兵器禁止条約」の交渉開始のため、国連加盟諸国とともに積極的な役割を果たすことを求める。

また、日本政府に対しては、被爆国の政府として、「核兵器禁止条約」の交渉開始のため、積極的なイニシアチブを発揮するよう求める。

2016年9月9日

原水爆禁止広島県協議会
広島県原爆被害者団体協議会

連絡先

〒732-0052

広島市東区光町2丁目9-24-202

原水爆禁止広島県協議会

電話 082-568-5530

Fax 082-568-5536